

ほっかいどう チャレンジテスト 学年末版

小学校第6学年 国語

注意

- 1 先生の合図があるまで、中を開かないでください。
 - 2 国語の問題は1ページから5ページまであります。
 - 3 解答は、すべて解答用紙に書きましょう。
 - 4 解答は、HBまたはBの黒鉛筆（シャープペンシルもよい）を使い、こく、はっきりと書きましょう。また、消すときは消しゴムできれいに消しましょう。
 - 5 解答用紙には、学校名、組、出席番号、名前をまちがいのないよう書きましょう。
- ※学年末のまとめの問題です。解答が早く終わったら、よく見直しましょう。

1

次の(1)から(6)までの文の――線部の漢字の読みを、ひらがなで書いてねいに書きましょう。

- (1) 姿[|]を現す。
- (2) 秘[|]密[|]を[|]守[|]る。
- (3) ゆ[|]っ[|]く[|]り[|]と[|]呼[|]吸[|]す[|]る。
- (4) 郵[|]便[|]物[|]を[|]確[|]か[|]め[|]る。
- (5) 窓[|]か[|]ら[|]外[|]を[|]見[|]る。
- (6) や[|]か[|]ん[|]か[|]ら[|]蒸[|]気[|]が[|]立[|]ち[|]上[|]る。

2

次の一と二の問いに答えましょう。

一 次の例のように、熟語を意味のまとまりから二つに分けます。あとの1から3までの熟語は、どこで区切るとよいでしょうか。それぞれふさわしいものを選んで、その記号を書きましよう。

(例) 人形劇 ↓ 人形 劇

1 非 — ア 常 — イ 識

2 耕 — ア 作 — イ 地

3 修 — ア 学 — イ 旅 — ウ 行

二 次の1から3までの文の——線部の言葉を尊敬語にします。尊敬語としてふさわしいものをあとのアからエまでのの中からそれぞれ一つ選んで、その記号を書きましよう。

1 教頭先生が、校庭にいる。

2 先生が、プリントをくれる。

3 校長先生から、はげましの言葉をもらう。

ア めしあがる イ いただく ウ いらっしゃる エ くださる

本田さんの学級では、「北海一郎」が書いた「晴太とカモ」を読んだあと、関連する本や文章を取り上げて下さいせん文を書くことにしました。次の【前川さんが書いた下さいせん文】と【本田さんが書いた下さいせん文】を読み、あとの問いに答えましょう。

【前川さんが書いた下さいせん文】

わたしは、「晴太とカモ」を読んで、作者の「北海一郎」に興味をもちました。そこで、図書館にかけ、「北海一郎」が書いた本をさがして読みました。その中で、主人公のものの見方や考え方に注目して読んだところ、「片耳の月の輪グマ」と「大シカ」が特に心に残りました。

「片耳の月の輪グマ」は、「晴太とカモ」と同じように、人と動物のふれあいテーマの物語です。狩りに出た主人公の目の前に、いつも狩りのじゃまをする月の輪グマが現れます。主人公は：【中略】：というお話です。動物と人間の交流に心が温まります。

もう一つは、「大シカ」です。この作品の主人公のおじいさんは、山の中で道に迷い、山のぬしの大シカに命を救われます。主人公は、：【中略】：というお話です。大シカの姿に感動し、動物たちと協力し合うおじいさんの姿におねをうたれます。

わたしは、同じ作者の作品を読むことで、お気に入りの作品に出会うことができました。みなさんは、物語の作者に注目して本や文章を読んだことがありますか。そのような経験がない人には、まずは、読んだ本の中から好きな物語を選び、その物語の作者が書いた本をさがして読むことをすすめます。きつと作者自身のことについて知識を増やしたり、作品にこめられた意味を深く考えたりすることができずです。

【本田さんが書いた下さいせん文】

みなさんは、同じ主人公が出てくる複数の本を読んだ経験がありますか。そのような読み方をしたことがない人に、「北海一郎」が書いた「晴太とカモ」や「晴太とウサギ」などの「晴太と○○」シリーズの本をおすすめします。

この物語の主人公の晴太は、少年です。この晴太が出てくるお話が、「北海一郎」の作品には、他にもあります。わたしは、主人公の晴太が気になり、晴太の成長をたどってみたいくなりました。

晴太が出てくる作品に共通することは、動物とのふれ合いを通して、晴太が成長していくことです。晴太は：【中略】：ということでした。

わたしは、主人公の晴太がどのように成長するの想像しながら、シリーズの本を読み進めました。そのことで、主人公の成長を実感することができました。ですから、みなさんにもぜひ、同じ主人公が出てくるシリーズの作品を読んでほしいです。

「本田さんは、『前川さんが書いたすいせん文』と自分が書いたすいせん文を比べて読み、分かったことをノートにまとめました。次の【ノート】の【ア】に当てはまる言葉を『本田さんが書いたすいせん文』の中から書きぬきましよう。また、【イ】に入る内容を、『本田さんが書いたすいせん文』の中の言葉を使い、〈前川さんの読書経験から〉と同じような書き方で書きましよう。

【ノート】

<p>自分のすいせん文</p>	<p>前川さんのすいせん文</p>	
<p>○「晴太と○○」シリーズの本</p>	<p>○同じ作者の作品 ・「片耳の月の輪 グマ」 ・「大シカ」</p>	<p>どのような本や文章をすすめているか</p>
<p>○アが出るシリーズの本を読んだ経験がない人</p>	<p>○物語の作者に注目して本や文章を読んだ経験がない人</p>	<p>どのような人にすすめているか</p>
<p>○イ</p> <p>〈自分の読書経験から〉</p>	<p>○前川さんの読書経験から〉 ○同じ作者の作品を読むことで、お気に入りの作品に出合うことができたから。 〈読むことを通した効果の面から〉 ○作者自身のことについて知識を増やしたり、作品にこめられた意味を深く考えたりすることができから。</p>	<p>すいせん理由</p>

二 本田さんは、「前川さんが書いたすいせん文」を読み、自分の読み方とちがいがあること気づきました。前川さんは、どのような読み方をしていますか。その説明として最もふさわしいものを、次の1から5までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 同じ題材で、複数の作者が書いた作品を取り上げ、作者の考えを比べながら読んでいる。
- 2 同じ主人公が登場する複数の作品を取り上げ、主人公の行動や思いを比べながら読んでいる。
- 3 複数の作者が書いた作品を取り上げ、登場人物の心情の変化に着目しながら読んでいる。
- 4 同じ作者が書いた複数の作品を取り上げ、それぞれのおもしろさをまとめながら読んでいる。
- 5 一つの作品を取り上げ、注目した物語の最後の部分や全体をくり返し読んでいる。

学校名		組		出席番号		名前		浜

へここから左には解答を書いてはいけません

二

1
10
2
11
3
12

2

一

1
7
2
8
3
9

(4)
4
(5)
5
(6)
6

1

(1)
1
(2)
2
(3)
3

★先生方へく解答欄の1、2等の番号は、問題結果登録の設問番号に対応しています。

国語 解答用紙

小学校第六学年

平成二十六年 度「ほっかいどうチャレンジテスト」学年末問題

